

<第8回 竜神地域会議 会議録>

日 時 令和8年1月27日(火) 18:00~19:10

場 所 竜神交流館 多目的ホール

出席者 委 員 14名

事務局 吉澤支所長、松原副主幹、鈴木担当長

ワザバ- 長谷川交流館長

1 報告事項

- (1) 第9回竜神地域会議会議録について
事務局から説明
- (2) 安全・安心なまちづくり「交通安全対策事業」の進捗について
 - ①スマホアプリ内バナー広告を利用した交通安全啓発事業について
⇒事務局から12月11日~1月12日の実績
2月1日~2月28日の予定を報告
 - ②12月20日(土)交通安全フォーラムへの出展について
⇒事務局からイベントの状況を報告
- (3) 高岡4地域合同事業の進捗について
 - ①1月22日(木)開催、笑撃波による「特殊詐欺防止講座」について
⇒事務局から実施状況を報告
- (4) 「わくわく事業団体募集」について
⇒事務局から報告

2 協議事項

- (1) 令和8年度(仮)竜神安全・安心フェスタの開催日について
(委員) 1月中旬までは自治区のイベント多い。11月下旬から12月は空いている。
これまで竹村小学校区で防災訓練をしているが、竜神中学校区では実施していないので、中学校区で実施できるのは良いこと。
(アドバイザー) 交流館としては、12月第1週は竜神サロン、第3週はニュースポーツのイベント、1月は下旬に文化部会のイベントがある。交流館としては日曜の方が空いていることが多い。
⇒消防団にも協力していただきたいため、事務局で消防団の都合も聞いて調整させていただく。
- (2) 防災ハンドブックの活用促進についてグループワーク
 - ① «現状と成果を測る工夫»について
 - Aグループ
・特に追加・修正の意見無し
 - Bグループ
・住民の訓練等の参加者数は、地域ごとに住民数に占める割合で評価した方が良いのではないか(高齢者が多いので年齢別で評価してもよい)

- ・近隣の安否確認ルールについては、自治区数だけでなく、どのようにやっているかの把握も必要
- ・隣人の家族構成を知ることは、題字とは思いがなかなか難しいのではないかと。

Cグループ

- ・AEDの設置場所の把握と明示は出来ないか（応急処置、救助方法）

② «ハンドブックに追加するとよい情報、掲載の工夫»について

Aグループ

- ・自主避難場所やトヨタ各工場等、民間で避難に協力してくれる場所を地図に記入（各企業の了解のもとに）、加えて各場所の収容人数を明示すれば、避難先を選ぶ基準にできる。
- ・マップは各自治区ごとに詳細なものにした方が良い。

Bグループ

- ・夜間の避難方法。高齢者、子供連れなど
- ・災害時の正しい情報の受け取り方（電話はパンクしている）
- ・避難所には何もないので自分でもっていくことを記す
- ・「自助」とは、最初に頼れるのは自分自身
- ・タイムライン（台風接近の際の準備）
- ・地震以外の災害時の避難方法

Cグループ

- ・災害が発生した時の隣人の把握の仕方を詳細に記入する。
 - *助けが必要な人は誰がいるか
 - *誰が安否確認するか
 - *被災しているときはどのように対応するか
(地域の防災ネットワークを作る)

3 連絡事項

以下、事務局より説明

(1) 自主防災サポーター養成講座の日程の決定について（2月28日）

★次回開催

2月24日(火) 午後6時00分～